



子育て支援センター ぽけっと 10月1日オープン!!

旧保育園を耐震改修工事し、子育て支援センターが10月1日にオープンします。

日当たりのいい園庭、広々としたプレイルーム、小さいお子さん用のトイレ……。親子での利用に合わせた施設です。

お子さんの一時預かり、ファミリーサポートセンターの利用以外は無料です。

子育てをお手伝いするスタッフが皆さんをお待ちしています。

どうぞお越してください。

問合せ 子ども育成課
☎内線221



メニュー

開館日時 火～土(年末年始・祝日を除く) 9時～17時

場所 葉山町一色1493番地の1

葉山町子育て支援センターぽけっと ☎876-4152

1.広場事業

親子でゆったり過ごしたり、他の親子と楽しく交流できたりします。

2.子育てについての相談

センターで直接か電話で、子育てについての悩み等の相談ができます。

3.小学校就学前の児童の一時預かり(事前登録制)

理由を問わずにお子さんを預かり、保護者のストレス解消等の援助をします。

日時 火～土曜日 9時～17時(年末年始・祝日を除く)

対象 町内在住の生後2か月～未就学児

定員 事前予約枠10人

食事・ミルク等は持参

(緊急の申込みにもできるだけ対応します)

費用 平日1時間につき800円、土曜日1時間につき1,000円

※延長料金あります。

4.子育て支援団体等の育成・支援・連携

活動場所の提供や、町内の子育て団体の連携を支援します。

5.子育て関連情報の提供

図書、情報コーナー、伝言板等を設置します。

6.子育て・子育て支援に関する講習会

子育て、生涯学習等につながる講習を実施します。

葉山町ファミリーサポートセンター ☎876-4119

子どもを預かりたい会員(支援会員)と預けたい会員(依頼会員)の相互間の調整をします。(事前登録制)

対象 1歳～小学6年生 **時間** 6時～22時

場所 原則、支援会員の自宅

(会員同士の事前打ち合わせで決める)

費用 1時間700円～900円



「ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)」 に向かつて

◆深刻なごみの現状

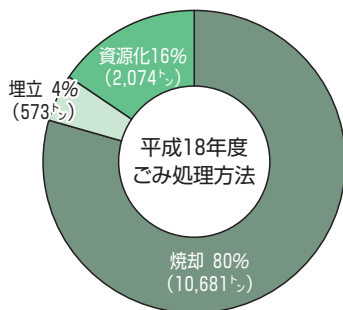
葉山町のごみは、今、大変深刻な状況にあります。神奈川県のある三三市町村中、一人あたりごみ処理費二位(約三万円)、一般会計に占めるごみ処理費の割合一位(十割)、一人あたりごみ排出量四位(一人一日一、一七五^{グラム}) —すべて最下位から数えた順位です(平成十八年度実績)。

最大の要因は、焼却炉の老朽化による処理効率の低下であり、そこに近年の燃料価格の高騰、委託処理の増大などが追い討ちをかけています。

◆ごみを減らして危機を乗り切る

最大の要因である焼却炉を新たに建設しなおすことは、残念ながら、現在の町の財政では困難です。

近年、焼却炉に求められる環境基準は格段に厳しくなっており、二〇億円にも及ぶ高度な施設の建設は、葉山のような小さな自治体単独では、ほとんど不可能な時代なのです。処理施設の建設が難しい以上、「ごみを減らして処理費を減らそう」と、町は今、危機を乗り切るために、「ゼ



ロ・ウェイスト」という抜本的な減量化政策に向かつて、踏み出そうとしています。

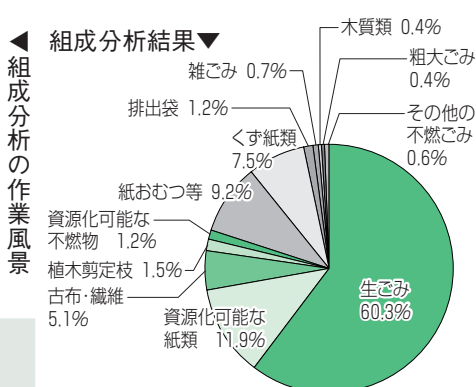
◆リサイクル率は現在十六割

現在、葉山町のリサイクル率は全国平均レベルの十六割です。全ごみの八〇割が焼却され、四割が埋め立てられています。

このリサイクル率を全国トップレベルの七〇〜八〇割まで引き上げ、焼却や埋立にかかる費用を減らし、小規模な町として、持続可能な環境とごみ処理を目指す——それが「ゼロ・ウェイスト」の目指す方向であり、葉山町は「危機を転じて」、環境先進地への転換を図っていきます。問合せ 環境課 内線四五

家庭ごみを組成分析

七月中旬、職員五人で、ステーションに出された家庭系可燃ごみの組成分析を実施しました。団地、既成市街地、市街化調整区域の三地区から、計約六百^キのごみを抽出し、グラフのとおり、十二品目に分別しました。



季節柄か、予想以上に生ごみが多

ごみは本当に減らせるの？

く(六〇割)、次いでミックスペーパーなどの資源化可能な紙類(十二割)、紙おむつ等(九割)、ちり紙などのくす紙類(八割)などが続きました。紙おむつ類、ちり紙類など、どうしても資源化できないものもありますが、大半は資源化や堆肥化が可能な生ごみ、ミックスペーパー類、古布・繊維、植木剪定枝、容器ラ類で、これらをすべて合わせると、可燃ごみの実に七〜八割が原理的には資源化可能であることが分かりました。これらをどうやって資源化に回し、可燃ごみの量を減らしていくかが検討課題となります。

環境課では、冬にも同様の組成分析を実施し、町内のごみの定期的かつ正確な把握を目指していきます。

「ゼロ・ウェイストを考える会」を開催しました

8月23日(土)、福祉文化会館で「第1回ゼロ・ウェイストを考える会」を開催し、森町長自ら、葉山町のごみの現状とゼロ・ウェイスト政策の主旨について説明しました。

町内外から90人近い参加者があり、質疑応答の時間には熱心なご質問・ご意見を数多くいただきました。

当日の概要は以下のサイトで紹介しています。

<http://www.town.hayama.lg.jp/topics2/topics01.html>

参加者から提供いただいたDVD(町長説明部分)を環境課窓口で貸出します。